

1 基本項目	事務事業名	公共交通対策事業				担当部署	課等名	都市計画課	
	予算事業名	公共交通対策事業					係名	まちづくり係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1026	
	事業期間	開始年度	昭和40年代	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち				款	総務費	
		政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実				項	総務管理費	
		施策名	施策19. 総合交通体系の整備				目	交通対策費	
	基本事業名	基本事業19-1. 公共交通ネットワークの充実				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)		
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	地域における公共交通(バス・鉄道等)の活性化を図るとともに、北陸新幹線長野-金沢間開業後の並行在来線及び地鉄本線の在り方を検討することにより、将来における調和のとれた交通体系を築き、市民の方が暮らしやすく、また、本市に訪れる方にとって満足度が高まるまちづくりの実現を目指すため、行政・交通事業者・市民が一体となって、各種施策の推進を図る。
	対象	魚津市民や魚津市を訪れる方々
	手段(活動指標)	「魚津市地域公共交通網形成計画」に基づき、市民団体の代表や関係機関などの意見を聴き、利用者・非利用者アンケートの機会を設けるほか、公共交通機関や市民ぐるみの活動を支援する。
	意図(成果指標)	市民および来訪者等全ての人が利用しやすい効果的・効率的かつ持続可能な公共交通体系(市民バス・地鉄バス・並行在来線・地鉄本線等の在り方)が築かれる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 魚津市公共交通活性化会議開催数	回	5	4	4	4	100.0%	4	
	② 在来線等対策連絡協議会補助金	円	0	0	0	0		0	
	成果	① 魚津市民バス利用者	人	142,004	133,698	142,000	113,308	79.8%	120,000
		② 地鉄バス乗車数(1日平均)	人	95	101	101	89	88.1%	100

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	41,614,215	12,084,491	14,164,000	12,985,854	7.5%	16,381,000
	①国庫支出金	円						0
	②県支出金	円	2,490,000	2,330,000	1,772,000	525,000	-77.5%	1,676,000
	③地方債	円						0
	④その他(使用料、雑入等)	円	560,100	579,000	600,000	183,300	-68.3%	300,000
人件費	⑤一般財源	円	38,564,115	9,175,491	11,792,000	12,277,554	33.8%	14,405,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	1,400	1,100	1,100	1,100	0.0%	1,100
総費用	③人件費(②×@ 4,432円)(B)	円	6,204,800	4,875,200	4,875,200	4,875,200	0.0%	4,875,200
	総費用(A+B)	円	47,819,015	16,959,691	19,039,200	17,861,054	5.3%	21,256,200

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	①魚津市公共交通活性化会議の開催、地鉄バス料金の市民バス料金化と夕方増便実験等	
	②地鉄鉄道線の鉄道安全輸送設備整備及び利用促進策等への助成	
	③あいの風とやま鉄道へ経営安定基金への拠出	
	④黒部宇奈月温泉駅と市内を結ぶ、予約制あいのりタクシーの運行	
	⑤魚津駅舎内の利活用スペース「ミラマルシェ」の維持管理	
	⑥室堂直行便「アルペンライナー」の魚津IC停車への対応	
	⑦在来線等対策連絡協議会の解散	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定		
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性	1 妥当である
有効性	B	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	2 目標どおり		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし	②類似事業の有無	1 なし		
1 次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	③上位施策への貢献度	1 高い	①コスト効率	2 普通	
						②実施主体の適正化	1 適正である	②負担割合の適正化	1 適正である
						③負担割合の適正化	1 適正である	2 次評価	不要
今後の方針	○現状を維持	方針の説明等	高齢化社会の進展や北陸新幹線開業後の周辺交通の変化などにより、公共交通機関に対する市民や来訪者のニーズの高まりと求められる内容も変化することが予想される。こうした中、公共交通の果たす役割はますます大きく、公共交通の利便性確保や利用促進策の充実など公共交通施策の推進のためにも事業の継続は必要である。						

1 基本項目	事務事業名	魚津市民バス運行事業				担当部署	課等名	都市計画課		
	予算事業名	魚津市民バス運行事業					係名	まちづくり係		
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1026		
	事業期間	開始年度	平成18年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計		
	総合計画	目標名	基本目標2. 安全で快適な暮らしやすいまち				款	総務費		
		政策名	政策07. 魅力ある都市基盤の充実				項	総務管理費		
		施策名	施策19. 総合交通体系の整備				目	交通対策費		
		基本事業名	基本事業19-2. 市民バス体系の強化				総合計画主な事業			
	根拠法令					総合戦略との関連			記載あり(評価対象)	
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)				集中プランとの関連			関連なし	

2 事業概要	事業概要	市民の日常生活に必要な交通手段の確保を図り、市民の福祉を増進するとともに、魚津市に來訪される方々の利便性を確保し、地域の活性化を図ることを目的として、魚津市民バスを運行しています。 ◇路線 市街地巡回ルート(東・西回り)、郊外ルート(6ルート)、◇運賃 全ルート共通 1人1乗車200円(小・中学生、高校生100円、未就学児無料) [回数券13枚綴り2,000円(小・中学生、高校生回数券13枚綴り1,000円)・1日乗車券500円(小・中学生、高校生300円)あり]	
	対象	魚津市民や魚津市を訪れる人	
	手段(活動指標)	運行及び安全運行に必要な運行管理を行うとともに、利便性向上などの利用促進策、持続的な運行を行うための運行体制の在り方に関する協議を行う。	
	意図(成果指標)	高齢者を中心とした交通弱者の移動手段を確保することで、地域間交流が促進し、地域の活性化、市街地の賑わいが創出する。併せて、道路交通の円滑化・交通安全、地球温暖化防止等環境保全、健康増進などを図る。	

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 市民バス運行委託料(市街地巡回ルート)	円	17,203,312	18,251,314	17,023,941	17,872,469	105.0%	18,480,000
	② 市民バス運行委託料(郊外6ルート)	円	49,679,505	48,507,659	53,822,548	50,114,838	93.1%	52,593,375
	① 魚津市民バス利用者	人	142,004	133,698	142,000	113,308	79.8%	120,000
	② 市民バス運賃収入(全ルート)	円	23,052,715	22,113,256	20,602,000	17,403,807	84.5%	18,000,000

4 コスト情報	区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度			R3年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	76,267,808	74,082,876	81,173,000	78,555,230	6.0%	78,866,000
	①国庫支出金	円	2,974,000	3,969,000	3,170,000	3,789,000	-4.5%	2,430,000
	②県支出金	円	10,964,000	10,771,000	8,432,000	9,343,000	-13.3%	8,064,000
	③地方債	円						0
	④その他(使用料、雑入等)	円	23,225,715	22,258,256	20,842,000	2,292,469	-89.7%	20,842,000
人件費	⑤一般財源	円	39,104,093	37,084,620	48,729,000	63,130,761	70.2%	47,530,000
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	1,500	1,200	1,200	1,200	0.0%	1,200
総費用(A+B)	円	82,915,808	79,401,276	86,491,400	83,873,630	5.6%	84,184,400	

5 取組内容	令和2年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>◇バスロケーションシステムの安定稼働に向けた取り組み及びバス運行ディスプレイシステムの運用安定化への取り組み</p> <p>◇市民バスを利用した利用促進イベント「親子でおでかけ事業」、「無料デー」の実施</p> <p>◇市街地巡回ルートの夕方1便の増便実験運行(通勤・通学者対策)</p> <p>◇「魚津市民バス等利用促進協議会」を起点にした、市内全域での市民バス及び地鉄バスの利用促進に向けた取り組み、地域・企業要望等の調整</p> <p>◇マイ時刻表の作成</p>	

6 評価	評価の視点	R1評価	R2評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	A	A		① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	
1 次評価	妥当性	A	A	特に問題なし	② 目的の妥当性	1 妥当である	
	有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	③ 対象の妥当性	1 妥当である	
	効率性	B	B	進め方等の改善が必要	① 目標達成度	2 目標どおり	
2 次評価					② 類似事業の有無	1 なし	
					③ 上位施策への貢献度	1 高い	
					① コスト効率	2 普通	
					② 実施主体の適正化	1 適正である	
					③ 負担割合の適正化	1 適正である	
					不要		